

作 樂

第229号

令和3年5月10日号

社会福祉法人 一誠福祉会

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532)48-5111・FAX (0532)48-5112

聖火リレーで沿道の皆さんに笑顔で手を振る清川哲央(当法人職員・左) 於 豊川市開運通

事業計画		令和3年度「一誠福祉会」「事業計画」2~3	
社会福祉法人 一誠福祉会 本部長	後藤 英夫	法人新体制	就任挨拶 道しするべとなり……
特別養護老人ホーム作楽荘 荘長	藤原 運也	随想	たかが脱臼じゃないか……
老人保健施設ヘルプ・ハイツ 施設長	近藤 利彦	TOPICO 2020	希望の光をつけたいだ200m
デイサービス作楽荘 機能訓練員	清川 哲央	入社式	令和3年度「入社式」辞令交付式
特別養護老人ホーム鈴木恒也	本部次長 鈴木恒也	新人研修	強い気持ちを持つて 特養俱楽部介護士
特別養護老人ホーム牧野亞也	牧野亞也	交換研修	新たな発見 ディサービス作楽荘 介護士副主査 丸山 彩美
特別養護老人ホームさくら介護士	丸山愛香	連携することの大切さ	刺激を受けた ディサービス作楽荘 介護士 嶋野愛香
特別養護老人ホームさくら介護士	小林 桜下	気持ちを新たに	お花見(花見喫茶)を催す……
特別技術走路走ることで得られるもの	壮志 壮志	新入研修	特別養護老人ホームさくら介護士 石橋加奈子
グループホームさくら介護士	石橋加奈子	特別養護老人ホームさくら介護士	向上委員会の設置 相談副主査 野澤尚弘
施設だより	11~18	春キヤベツの収穫 介護士主任 安藤裕司	お花見ドライブ 介護士副主任 佐々木温美
* ティサーービス作楽荘		* 作楽荘 介護士 笹野芳昭	* 3月イベントランチ 介護士 吉崎美幸
* 美光ハイム		* 作楽室 事務員 佐々木温美	* 斯樂樂 介護士 笹野芳昭
* 春キヤベツの収穫 介護士主任 安藤裕司		* 3月イベントランチ 介護士 吉崎美幸	* G Hくらら 介護士 吉崎美幸
* 作楽荘 介護士 笹野芳昭		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 和光ハイム 介護士 奥山景子
* 作楽室 事務員 佐々木温美		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 山岳部の七不思議 入居者 大木勇夫
* 3月イベントランチ 介護士 吉崎美幸		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 麗樂荘 入居者 牧野大也
* 斯樂樂 介護士 笹野芳昭		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 和光ハイム 入居者 大木勇夫
* お花見ドライブ 介護士副主任 佐々木温美		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 山岳部の七不思議 入居者 牧野大也
* ベルヴューハイツ 介護士副主任 佐々木温美		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 麗樂荘 入居者 牧野大也
* ベルヴューハイツ 介護士副主任 佐々木温美		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 和光ハイム 入居者 牧野大也
* D S C吉足伊藤		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 麗樂荘 入居者 牧野大也
* 力ラフルな日々 伊藤知子		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 和光ハイム 入居者 牧野大也
* 和光ハイム 伊藤知子		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 麗樂荘 入居者 牧野大也
* 山岳部の七不思議 入居者 大木勇夫		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 和光ハイム 入居者 牧野大也
* 麗樂荘 入居者 大木勇夫		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 麗樂荘 入居者 牧野大也
* 謝謝 獅子狗ユーリー 介護士 牧野大也		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 和光ハイム 入居者 牧野大也
* ケンネル委員長 田辺ケイゼン 事務員 竹之内幸恵		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 麗樂荘 入居者 牧野大也
* GHうらら 久しづびりの散髪 介護士 川崎俊弘		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 和光ハイム 入居者 牧野大也
* 運営会議開催 介護士 宮下俊弘		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 麗樂荘 入居者 牧野大也
施設日誌【職員募集中】/編集後記 18~20		* G Hくらら 介護士 吉崎美幸	* 和光ハイム 入居者 牧野大也

B

次

事業計画

令和 3 年度 一誠福祉会「事業計画」

社会福祉法人 一誠福祉会 本部長 後藤英夫

眼に見えない、色も無い匂いもしない小さなウイルスが、強烈な感染力を

持つ新型コロナウイルスとして、日本を含め世界を震撼させており、こ

の一年半で世界中に繁殖し、日本では約 60 万以上の人々に感染、1 万に達する人々の尊い命を奪いました。テレビ等メディアのトップニュースはいつもコロナ問題を取り上げられ、多くの時間が費やされています。

社会においても深刻な打撃を与え、オリンピックの延期、事業所の倒産、雇用解雇が人々の希望を失わせています。

例外なく当法人事業に於いても感染予防の観点から多くの事業が中止され縮小されました。皆

様の協力と弛まぬ努力により一先ず感染無く年度を終えました。

それを踏まえ令和 3 年度事業計画が、役員会で承認されました。

☆主旨概要

「新型コロナウイルス感染症拡大や異常気象により、新しい施設運営作りが急務となつており、当法人の動向が地域から注目視されています。

それに応えるべく、利用者・職員に徹底した健康管理を行い信頼される

法人を目指していきます。さらに中期・長期計画を遂行し、職員が同じ目標と認識をもつて課題を達成していきます。」

課題達成の経営方針

一、中・長期計画の実行

(1) 施設大規模修繕の中期事業整備

(2) 中・長期の財務体制の取組と新事業への整備

(3) ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底

(4) 介護報酬改定に向けた加算の取得

(5) 利用率向上に向けての加算の取得

二、介護人材の育成・確

保・定着への取組

(1) キャリアパス制度の充実

(2) 資格取得と資格継続へ

(3) 外国人雇用への取組
(4) 定年延長と非常勤職員の雇用拡大
(5) ワークライフバランスの向上

三、感染症及び災害への対応力強化

(1) 法人マニュアルの見直しとそれに基づく訓練
(2) 地域住民との連携
(3) 法人事業所間の連携と情報共有
(4) 感染症・災害備品の貯蔵と管理
(5) この他理事長からは中斷していた本部機構の再構築を強く推進していくことを指示された。

これからは「集団から個別」「効率から価値」 「密集から分散」となります。これまでの集団から利益を追求する社会から

ら、一人ひとりの価値を尊重する世の中への改革が求められます。つまり、個人の価値を尊重することは、他人との違いを認識することになり、これは当然事業所にも当てはまります。素早く他法人との違うアイディアを見つけ実行していきましょう。

法人新体制

令和3年4月より左記のとおり、特別養護老人ホーム作楽荘荘長の交代がありました。なお、後藤英夫前荘長は引き続き法人本部長、特養俱楽莊・斯樂莊、ケアハウス美光ハイムの施設長は続投です。法人本部機構強化のためさらに邁進していく所存です。

新作樂荘荘長
藤原運也

道しるべとなり

就任挨拶

特別養護老人ホーム
作楽荘荘長 藤原運也

22年前、日々介護がしたいという思いだけで一誠福祉会の門を叩きました。勿論、介護についての知識は全くの素人。無謀な青年の夢を叶えて頂き、それからは毎日「さ

て、自分には何ができるのか?」を修行僧のように自問自答しながら、自己研鑽の日々でした。

特養の介護士から始まり生活相談員、シヨートステイ・デイサービスと様々な経験を積ませて頂きました。あつという間に月日は流れ、ふと振り返ると20年強の月日が流れました。

この月日が長かったのか短かつたのかというと、

正直よく分からぬというのが実感です。ですがただ一つ確かなことは、未来への道しるべは過去にあるということです。

私が入社した翌年、措置制度から介護保険制度へ切り替わりました。措置体制から脱却するのにそれなりの時間を要したと記憶しています。それから十数年、法改正も何度か行われてきました。

とくに昨今では社会福祉法の制度が変わり、社会福祉法人を取り巻く環境も大きく変わりました。

莊長という大役を仰せつかり、今一度過去を振り返る良い機会を与えて頂きました。先人への感謝の気持ちを忘れず、職員一丸となつて利用者の皆様が安心安楽にお過ごし頂けるよう努めると共に、地域に根差した施設づくりを実現するため、微力ではございますが尽力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

「そんな時どうなるのか?」「これからどうやついくべきなのか?」を

随想

たかが脱臼じやないか

老人保健施設ベルヴューハイツ 施設長 近藤利彦

十年前から左環指・左小指に強いシビレ及び、触る感覚が消失している。原因は左肩関節脱臼の後遺症である。

冬期は毎年十五回位スキーをした。とくにチャオ御岳スキー場の近くに友人吉本氏がいて、そのため開業以来続けて行っていた。二〇一四年、御岳山火山爆発が起き、スキー場はその北斜面に位置していた。

二〇一二年そのスキー場でスキー中に事故に巻き込まれ、意識が戻った時はスキー場のトレーナー運転の車中であった。左肩周囲の激痛で全く動かすことができなかつた。左鎖骨骨折? 左肩関節周

囲の骨折? により長野県立木曾病院へ搬送された。主治医が「左肩関節脱臼です。本日中に帰れます」と。壱月の日曜日の出来事。徒手整復、局所麻酔でも治らず。先生から「近藤さんの肩の周りの筋肉が強いから筋弛緩剤を使用して全身麻酔で行いたい。麻酔科医に連絡します」。そう言われたが、結果日曜日で連絡がつかず。「私が全部します。いいですか?」と決断を迫られる。先生があまりにも若い医師であつたためナースに、「福井先生は独身ですか?」と聞く。ナースいわく、「子供さんが参りますよ」。それですべてを信頼してお願い

した。「気管挿管しますから歯は大丈夫?」。「おそらく一本飛びますよ」と私は答えた。点滴をして数を一・二・三と数えた。天國に行つた。「近藤さん、終わりました」。ナースのひと言で現実に戻つて痛みはとれた。全麻であり、抗生素質の使用の事。徒手整復、局所麻酔でも治らず。先生から「近藤さんの肩の周りの筋肉が強いから筋弛緩剤を使用して全身麻酔で行いたい。麻酔科医に連絡します」。そう言われたが、結果日曜日で連絡がつかず。翌朝、抜けた歯をもつて院長先生? が回診に来られた。「すみません」と言われ左手指を検査された。「やはり」と、先生は確かに下肢が悪く杖を持つていらした。

月曜日、愛知医科大学加藤先生に診察を受けた。「これはリハビリが大変ですね」。そう言われ愛知医大で三日間リハビリを行つた。私は浮力を使用したりハビリが一番効果的であると以前から患者

様に勧めていたので、早速プレーのあるトレーニングジム「オリンピック」(現在コナミ)に毎日二時間位実行した。

徐々に改善され、握力「0」左肩関節自力可動域「0」が10ヶ月位で、90%改善された。もちろん内科医であるから仕事は出来、一日も休むことなく翌朝、抜けた歯をもつて院長先生? が回診に来られた。「やはり」と、先生は確かに下肢が悪く杖を持つていらした。

次年度もスキーに出かけた。因みにチャオ御岳は火山爆発で二〇一四年の冬期から休業となつた。ブルのリハビリではそれは美しい女性が毎夜見えて、その方を眺めモチベーションが上がつたものだつた。

私がその後、井上病院に転職した時、その方が事務所に勤めてみえて実際に最高の再会であつた。神のご加護を。

TOKYO 2020

希望の光をつないだ200m

デイサービス作樂莊 機能訓練員 清川 哲央



私は4月6日に豊川市に於いて、延期になつていた東京オリンピックの聖火ランナーという大役を務めきました。この

日は一生の思い出となる特別な日として心に刻まれる夢のような一日となりました。

晴天となつた当日の朝、豊橋に集合した聖火ランナー達はユニホームに着替えオリエンテーションに参加。一日の流れの講習や前後のランナーとトーチキスボーズの打ち合わせを済ますと、専用バスに乗り込みいざ出発！走行場所が近づくと、車窓からはリレーに参加

するスポンサーの宣伝カーや沿道に集まる人並が見え、緊張感はどんどん高まつていきました。

走行ポイントに到着しバスから降り立つと、沿道に集まつた人達の熱気や独特的の雰囲気を肌に感じ、ピーケに達した緊張感と高揚感で涙腺が緩みました。「いよいよだ！」

先導車両に続いて前のランナーが到着。トーチキスで聖火を受け継ぎボーズを決めるに、割れんばかりの拍手。その拍手と「頑張れ！」の声援に押されるようになり、トーチを掲げて走り出し、伴走者のサポートを受けながら

一歩、また一歩と噛み締めるように走つたその200mは、聖火のぬくもりと沿道の人達の暖かい応援と笑顔に包まれて、夢心地であつたという間の出来事でした。



“魅せ場”のトーチキス

今回、私が二年越しの夢を叶えることができたのは、今まで私のことを支え応援してくださった周りの方達のおかげであ

り、これからも夢を持ち、前向きに生きていく人間でありたいと思います。

リンピックやスポーツが

もたらす感動は、必ず多くの人に勇気や希望を与えて前向きに生きていく

原動力になると信じています。そんな希望の光を少しでも誰かに届けたい

という気持ちで走りましたが、終わつた後に見てくれた方から「感動しました！」「明るいニュースをありがとう！」と言つて頂けた事で、私の想いは伝えられたかなと実感しています。

聖火は今も日本各地を巡り、7月23日開会の東京オリンピック会場に向けて多くの人の想いをつなぎます。

入社式

**令和 3 年度
「入社式・辞令交付式」**

本部次長 鈴木 恒也

昨年は新型コロナウイルス感染拡大中であつたため入社式・辞令交付式は中止となりました。しかし、今年度は万全の感染症対策を実施したうえで、挙行することができました。

式は小島財務部長の開式の辞で幕が開き、続いて理事長より新入職員および異動昇級役職者に辞令が授与されました。どの職員も少々緊張感が漂う中にもやる気と希望に満ち溢れた表情が垣間見られました。辞令の授与が終了すると、次いで新入職員、牧野亞也乃さんが、「誓い

かに宣誓しました。
その一節に、「どんな難題にも毅然と立ち向かい乗り越えていく」とあり、これは私の心にも強く響き、改めて気持ちが引き締まる思いでした。

続いて、理事長より挨拶を頂戴いたしました。その中で、職場環境への対応について、あせらずじっくりやつていけば良いとのお言葉を頂きました。最後に青山総務部長の閉式の辞で式は滞りなく終了いたしました。

式は小島財務部長の開式の辞で幕が開き、続いて理事長より新入職員および異動昇級役職者に辞令が授与されました。どの職員も少々緊張感が漂う中にもやる気と希望に満ち溢れた表情が垣間見られました。辞令の授与が終了すると、次いで新入職員、牧野亞也乃さんが、「誓い

の言葉」を力強く声高らかに宣誓しました。

その一節に、「どんな難題にも毅然と立ち向かい乗り越えていく」とあり、これは私の心にも強く響き、改めて気持ちが引き締まる思いでした。

強い気持ちを持つて

特養俱楽莊
介護士 牧野 亜也乃

私は令和 3 年 4 月 1 日、新入職員代表として「誓いの言葉」を述べさせて頂き、大変感謝申し上げます。

この 3 月までは高校生だった私にとって、今までとは全く異なる環境となるため、不安ばかりが募り、この日を迎えるまで緊張が絶えませんでした。しかし、ずっと憧れていた初心者マークの介護士になれたことや大勢の前で「誓いの言葉」を拝読させて頂いたことで前向きな気持ちになれました。

今回は会歌の齊唱や記念撮影は、コロナ禍で制限したため行なわれなかつたのですが、天候にも恵まれ、新入職員をはじめ皆さんの幸先良い船出になつたと強く感じました。

これから働いていく中できつと大変な事も増え

ると思いますが「誓いの言葉」の内容にもあつたようにどんな困難にあっても諦めず毅然と立ち向かい乗り越えていく強い気持ちを持ち続けていきたいです。



新たな気持ちで出発！

まだまだ未熟な私ですが、諸先輩方のご指導を仰ぎながら、配属先の俱楽莊で入所者様の支えとなる介護士になれるよう、今の想いを忘れず頑張つていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致

新人研修

連携することの大切さ

作楽荘事務員 小林 彩美

3月中旬、当法人で初めてとなるリモート新人研修が開催されました。新型コロナウイルスの影響で、大勢で集まることが難しく、3会場に職員が分かれ講義を受けました。講義内容は法人の歴史や組織の構成、職種別業務の役割、マナーなど多岐にわたりました。

今回の研修を通して一番感じたことは、「職種間の連携」が大切であること。様々な職種の方が役割を果たし、協働することでよりよい職場環境が築かれていく、人間関係もうまいくのではなかと思います。



新しいスタイルでの研修

3月17・18日の二日間で研修が行われました。本来なら、入職一年未満の職員が対象となります。昨年はコロナ感染症の影響で実施できなかつた為、一昨年に入職した職員も含め実施されました。

実際に研修を受け、業務の振り返り、これから業務に入る心構えなどを受講する人によつては価値観や意味が変わつてきました、そんな研修になつたようになります。

また、今回は感染症対策として、リモート研修など初めての取り組みを採用し、例年とは違ひ新鮮さを感じました。



接遇の練習風景

また、お互いを尊重してコミュニケーションを取り、連携を図ることで入所者の方々も快適な生活が送れるのではないかと考えられました。

今年は昨年から続いた感染症の影響でこのようにな形になつてしまいましたが、早く収束して日常生活が戻ることを願っています。

今後も学ぶ姿勢を忘れず、向上心を持つて業務に努めていきたいです。

実際に研修を受け、業務の振り返り、これから業務に入る心構えなどを受講する人によつては価値観や意味が変わつてきました、そんな研修になつたようになります。

今回学んだ事を今後の業務に活かしたいと強く思いました。

接遇やマナーなど社会人としての心構えや介護士としての技術・知識等、

また、お互いを尊重してコミュニケーションを取り、連携を図ることで入所者の方々も快適な生活が送れるのではないかと考えられました。

今年は昨年から続いた感染症の影響でこのようにな形になつてしまいまし

たが、早く収束して日常生活が戻ることを願っています。

3月17・18日の二日間で研修が行われました。本来なら、入職一年未満の職員が対象となります。昨年はコロナ感染症の影



熱気溢れる研修会場

気持ちを新たに

作楽荘介護士 櫻下 壮志

交換研修

新たな発見

デイサービス作楽荘

介護士副主任 丸山 清

交換研修先となつたベルヴューハイツデイケア。作楽荘デイサービスとの違いはとても興味深かつたです。

デイケアの職員は個々の能力が高く、また利用者様もリハビリ意欲が旺盛でした。現状維持から向上へ向かう姿勢、それを提供する各種サービスや設備、どこを見ても魅力のある施設でした。

私は他業種で生産管理の職務を経験した事もあり、「何故そうしなければいけないのか?」をいつも考えるようにしていましたが、新たな発見もありましたし、

今回の研修で課題にしていた短期・中期・長期的に取り組むべきことが少し見えてきて、手応えを感じました。

今回経験した良い点を職場で活かす為には他職員の協力が絶対に必要です。それにはまず自身で目標を明確に定め、計画的に行動し、更に改善していくしかなればと考えます。改めて身の引き締まる思いです。

私が研修した当日は、麗楽荘のデイサービスセンターと比べて自立されている方が多かつたよう

に感じました。送迎・食事・入浴介助など、当事業所の基本的な業務内容は同じでしたが、違う点で感心したところを紹介します。

一番驚いたのは、朝稼働率向上に繋げていける様、提案と実践をしていきます。

とても良い経験をさせて頂きありがとうございました。

刺激を受けて

デイサービス麗楽荘

介護士 峯野 愛香

わかり、とても嬉しく感じるでしょう。

食事前の口腔体操は、前で行つてある職員より

からは利用者様に口腔体操の必要性を伝え、しっかりと口腔体操が浸透するようになります。そしておやつ後の小レクも是非取り入れたいです。

入社して初めて他の施設で研修をさせて頂き、とても良い刺激を受けました。今後職員一丸とな

り、一日を過ごしていただけ

るようサービスの充実を目指し、頑張つていきました。

季節行事

お花見（花見喫茶）を催して

特別養護老人ホーム作楽荘 生活相談員副主任 鈴木孝政

例年は外出行事として公園に行き、お花見を皆さんと一緒に楽しむことができましたが、今年の春も昨年同様に新型コロナウイルス感染症予防のため、残念ながら外出することはできませんでした。

しかし、ありがたいことに作楽荘の起源となる一本の大きく見事な桜があります。その樹下に喫茶スペースを設け、3月29・30日に花見喫茶として行事を開催させていただきました。

行事の準備の段階ではスタッフの配置を考え、

喫茶スペースでは、お抹茶とお菓子を食べていただきました。

2月中旬から計画を立てました。桜の開花予想を確認しながら日程を決める際は、「桜は満開になつてゐるかなあ…」等、お花見の当日までは不安な気持ちでいっぱいでした。

そして、お花見当日。桜は満開、そして天候も大変良く、ほつと胸を撫でおろしました。入所者の方々を花見会場までご案内すると、玄関を出た瞬間に、「うわあ、きれいだねえ。」と自然と笑顔が溢れていきました。

もちろん、お抹茶とお菓子も、「おいしいよ」と喜んでいただき、お花見

桜の下で余興もありました



春の日差しをいっぱい浴びて

を満喫されていました。その様子を見て、我々も心が和みました。

施設内での感染拡大防止のため、日々慎重かつ緊張して業務にあたっています。普段どおりの生活に戻るにはまだまだ時間が掛かりそうですが、ただきました。「花より団子」という言葉がありますが、このコロナ禍で中々外出することもできず、ご家族との面会にも制限があり、お菓子を食べるよりも久しづりに外出できた事や気分転換を図れた喜びの方が大きいのではと感じる場面が多々ありました。

特技披露

走ることで得られるもの

グループホームきらら 介護士 石橋 加奈子

私の趣味はマラソンです。始めようと思ったきっかけは、夫と付き合っていた頃、マラソン大会に出場するとの事で応援に行つた際、彼の全力で走っている姿が、「眩しくて、ひたむきで、生き生きして、とても格好良い」と惹かれ、私もあんまり走れるようになりたい」と思つたからです。

それから彼と一緒にジョギング、地元のマラソン大会や『RAN伴』に参加しているうちに、いつしかマラソンが二人の共通の趣味となりました。印象に残っているマラソン大会を 2 つ紹介したい

と思ひます。

1 つは 2016 年 3 月に開催された第 7 回穂の国豊橋ハーフマラソン大会です。その大会に夫と一緒に出場しました。沿道での温かい声援、ボランティアの方々の励まし、そして初めから終わりまでずっと一緒に横で走ってくれた夫のおかげで、何度も挫けそうになりながらも最後まで諦める事無く、21.0975 キロを完走する事が出来ました。

もう 1 つは 2019 年 10 月に参加させて頂きました。『RAN伴』とは、今まで認知症のお年寄りと接点が多くさん応援に来てください

本全国を縦断するイベントです。2018 年から新城市でも本格的に開催されるようになり、私達夫婦は 2019 年に参加させて頂きました。2019 年は自転車で参加することもできるようになりました。もちろん私達夫婦はランを選択し中距離コースに参加しました。

コロナ禍でイベントの開催が困難な状況ではありますが、機会があれば是非次回も夫婦で参加させて頂きたいと思ってい

ます。『RAN伴』通じて、繋がりが大きく広がりつつあるのを走りながら実感しました。



声援が力になります

作 樂



手間暇かけて育てました

○春キャベツの収穫

介護士主任 安藤 裕司

作楽荘のデイサービスでは中庭を利用して、楽しみながら家庭菜園を行っています。

これまでにはほうれん草・ミニトマト・落花生などを育ててきましたが、今回は花壇にキャベツの苗を植えました。

収穫したキャベツは漬物に、また焼きそばにと、昼食や手作りおやつの時間においしくいただきました。

皆さん昔取った杵柄ですね。農業に関しては私達よりも利用者様のほうがプロ級の腕前です。



春キャベツと記念撮影!

施設だより

デイサービス作楽荘

肥料や水をあげ、時々草取りもしながら手間を掛けて育ててきました。

そして3月になつた頃には立派な春キャベツが育ち、それを収穫しました。

私は2020年に一誠福祉会へ入社。介護福祉士の資格取得を一つの目標に掲げました。

目標を達成するため、職場の先輩方にアドバイスをもらい、学習方法を模索し、準備は万端でしたが、いざ勉強を始めると子育てとの両立は簡単なことではなかつたです。

私は参考書の様な本でなく、携帯アプリの「介護福祉士受験対策」を活用しました。とても解りやすい解説付きで理解しやすかったのと、子供の送迎の待ち時間など少しの時間でも手軽にでき、とても良かつたです。

作楽荘

○目標に向かって

介護士 大和 里江子

合格発表当日、サイトを見ると私の受験番号があり、「こんなに嬉しい事はあるのか?」と思う位に本当に嬉しかつたです。

試験合格前はショートステイに配属されていましたが、この4月より特養に異動となりました。今まで以上に知識と職員間での連携が必要になると思いますので、勉強した事を活かせる様に努力したいです。

合格発表後には沢山の祝福の言葉をもらいました。応援してくださったご利用者様、職員の皆さんありがとうございます。これからもご利用者様が楽しく穏やかに過ごせる様、新たな目標を掲げ、一步ずつ進んでいきたいと思います。

○美光ハイム―― 美光ハイム――

事務員 佐々木 温美

○美光教室

美光ハイムでは昨年より、入居生活の充実を図るための取組みとして、毎月 1 回、体操・漢字などをを行う美光教室を開催しています。コロナ禍により運動する機会が減つてしまつた入居者様の為に、カラオケ機器のプログラムを活用し、体操と脳トレを行っています。

はじめは上下肢のストレッチ。ゆつたりとした曲に合わせて、ご自身のペースで無理なく体を動かして行きます。

次に下肢をメインとした筋トレ体操。少しづつ難易度が高くなる動きに、次第に体が温かくなつて

美光ハイムでは昨年より、入居生活の充実を図るための取組みとして、毎月 1 回、体操・漢字などをを行う美光教室を開催しています。コロナ禍により運動する機会が減つてしまつた入居者様の為に、カラオケ機器のプログラムを活用し、体操と脳トレを行っています。



真剣に取り組んでいます

脳トレでは映像の一部が徐々に変化して、どこが変わつたのかを当てます。目を凝らして画面と睨めっこ。「あつ、分かつた！」と嬉しそうに指差しをする入居者様の姿が印象的でした。

今後も入居者様の健康を考え、工夫を凝らし取り組んでいきたいです。

きたという声も聞かれました。最後はクールダウンで腕や膝などをさすつて呼吸を整えて終了です。

○3月イベントランチ

介護士 笹野 芳昭

○俱楽荘―― 俱楽荘――

新型コロナウイルスの猛威は健在、外出や荘内でのイベントは引き続きできないのが現実です。荘内で楽しめる事はとと考え、「3月のイベントランチ」と銘打つて、ソーシャルディスタンスを保ちながら皆さんと一緒に食事を楽しみました。

イベントランチは、私が俱楽荘に異動してから初めてのイベントだつたので、とても不安でした。が入居者の皆さんや職員の協力のお陰で、うまく出来たかと思います。

メニューは何にするか悩んでいましたが、お寿司がいいとリクエストが

多かったのでスシローの寿司と茶碗蒸しを、デザートにミルリトンのケーキを注文しました。普段は食事介助が必要な入居者様もこの日はご自身で召し上がられました。また、ほとんどの方が、ケイも含めて全て召し上がり、夕食が喉を通らなくなるのではと、心配になりました。

もつと笑顔が見たい、そんな気持ちでこれからも取り組んでいきます。



お寿司美味しかったよ！



○お花見ドライブ

介護士副主任 野澤 尚弘

新型コロナウイルスと向き合つてもう一年以上が経過しました。

マスクが当たり前、定期的の消毒が当たり前、定期的の換気も当たり前と、このスタイルにも馴染んできました。

外出を控えた昨年、今年は車中でのお花見ドライブを計画しました。三月二十七日、外は暖かく絶好のお花見日和となつたので桜を見に行くことにしました。

車の窓を開け換気をしながら、豊橋競輪場前の朝倉川の並木道に行きました。桜の花は七分咲きでした。



桜に手が届きそうなのに！

入居者の皆さんは、「桜がとても綺麗」「久しぶりの外出できたので嬉しい」と車中でしたが喜んでくれました。

本当はお茶やお菓子を持って行き、桜の木の下でレジャーシートを引き、ゆっくりとお花見見物をしたかったですが、まだ新型コロナウイルスの猛威は衰えていませんめその楽しみはまた来年に持ち越し。喜びの倍返しを期待します。

この三月で百歳を迎られた入居者様の誕生日会を催しました。以前学生さん達に『安くて美味しい』お好み焼きを振舞つていらっしゃったそこで、昔を懐かしんで頂こうと一緒にお好み焼き作りでお祝いをしました（殆ど笑顔で見ておられましたが…）。

一世紀もの時を歩んでおられる人生の大先輩に敬意を表し、デイルームを装飾して、ひ孫ほどの年齢の職員が手作りした花飾りの感謝状を贈呈し、お祝いの言葉を述べると、「こんなにやつてくれるて、ありがとうございます。万々歳だ」



○百寿を共に祝つて

介護士 吉崎 美幸



お好み焼きは健康食です

世間では暗いニュースが続くなか記念すべき百寿を共に祝う事ができ、とても有難く感動したひと時を過ごす事ができました。これからも変わらずに元気に過ごしていただきたいです。

コロナ禍で行事や外出がままならない状況ですが、少しでも入居者様に喜んでいただける催し物をと、全職員が模索している毎日です。

○ベルヴューハイツー

○LIFE 向上委員会の設置

相談員副主任 萩本 英樹

科学的介護情報システム

「LIFE」(Long-term

care Information system

For Evidence) とは、利

用者様の情報や介護サ

ビス提供に関する内容の

データを厚生労働省へ提

出することと、データ解

析によるフィードバック

の活用によって、科学的

に裏付けられた介護の実

現を目指しサービスの質

の向上を図る取り組みを

するためのシステムです。

令和 3 年 4 月の介護報

酬改定で導入され、情報

提供により加算を取得す

ることができます。リハ

ビリ・栄養・介護状況等

をデータ化し、その情報

とが急務であるため、P
C の増設やネットワーク
化、そして対応ソフトを
購入・整備しました。

単なるデータ提供だけ
で終わることなく、他職

種協働で PDCA サイク

ルを回し、ケアの向上を

図ることが大きな目的で

あることも忘れてはいけ

ません。

今回、LIFE 向上委

員会を立ち上げ、さらに

内容をプラスシユアップ

して、入所者様にさらに

向き合っていく所存です。

○ベルヴューハイツディケア

○利用者満足度調査

看護師副主任 伊藤 知子

まつた新型コロナウイル

スの猛威は未だ収まらず、

豊橋市の高齢者施設や病

院、在宅サービス事業所

でもクラスターが発生。

その侵入を防ぐため当事

業所も感染対策を施し、

職員は戦っています。

さらに通所を控える利

用者様が増え、利用率は

一昨年に比べ大幅に減少

し、令和二年度の決算状

況は散々なものであります。

況は散々なものであります。

行事の実施、ボランテ

ィアの依頼、喫茶の開放

等当たり前に行っていた

ことが、なかなか積極的

に出来ない状況が今も続

いております。

こんな状況下で何か出来ることはないかと思い、足元を見るため「利用者満足度調査」を今年の 1 月末に行いました。8 つの設問に答えていただき、結果を掲示板に張り出しました（男性 33 名、女性 37 名）。

女性は平均 7 割位満足されていますが、男性に至っては 6 割、少し満足度が低いようです。特に

男性の場合、レクリエー

ションの満足度が 3 割と

とても低かったため、今

後の課題です。

要望・意見なども記入

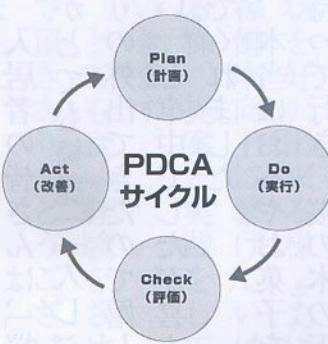
いただき、痛烈なご意見

もございましたが、大変

参考になりました。少し

でも改善し、満足しても

らうよう努力します。



○カラフルな日々

介護士 奥山 景子

今年度は屋外も室内も色鮮やかな空間でご利用いただき、気分よく過ごしていただこうと計画しております。

少し早かつた桜が満開のころ、吉かわでは昨秋にご利用者の皆さんと種を蒔いたホタルナデシコが畑や庭に、花壇にはパンジー・チューリップ・ネモフィラなどもカラフルに咲き誇りました。季節は夏野菜やサツマイモの苗を植えていきますので、順調なら夏場には緑で囲まれることになることでしょう。



「団子より花!?」の日々

屋内では、毎月いろいろな展示物を作成して掲示する予定ですが、こちらも彩とりどりで、明るい空間づくりを心掛けています。

利用者の皆さんにお配りする『吉かわだより』も大判掲示が好評を博しています。

とともにかくにも、ご利用いただいている皆さんのが笑顔萬歳となっていただけるよう、試行錯誤の毎日で楽しいです。

私がめでたく四年で名商大を卒業した時、後輩は、「あれがたつた四年で?」と首を傾げた。入学時は商科大学商学部だったが、何が起こつたのか卒業時は商科大学山岳部で本人も知らぬ間に学部が変更していた。

卒業から数年後大学から呼び出しがありヒヤヒヤしながら訪問。当時の山岳部顧問である教授が待つていて教室に招き入れられた。教授は席に着くなり、「大木君、君は後輩にどんな指導をしているんだね、これを見なさい」と一枚の純白の答案用紙を渡された。答

○和光ハイム――

入居者 大木 勇夫

案用紙には、「私は山岳部であります。部籍番号〇〇番」と書いてあつた。教授に「これどうされましたか?」聞くと、「しようがないから一回追試で単位取れるよう五十九点つけておいたよ」と言わわれ予が、「ありがとうございます、前途ある青年が一人救われましたね」と言うと、「大木君にそう言われるのも何だからなあ」と苦笑いしながら言われた。



名商大学山岳部卒業!


麗樂莊

○「謝謝 獅子狗ユーリー」

ケンネル委員長
田窪 ケイゼン

事務員 竹之内 幸恵

令和 3 年 3 月 22 日 午前 0 時、ユーリーは静かに息を引き取りました。その存在と人気は圧倒的で、お年寄り、職員、たちがどれほどユーリーに助けられて来たかをお話したいと思います。

ユーリーが麗樂莊に来たのは平成 18 年の 11 月。コロコロとした可愛らしい仔犬でした。複数の人が出入りする施設でも人見知りする事なく、仔犬らしく無邪気に遊ぶ姿が昨日のように思い出され

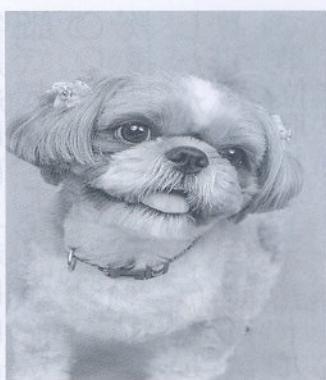
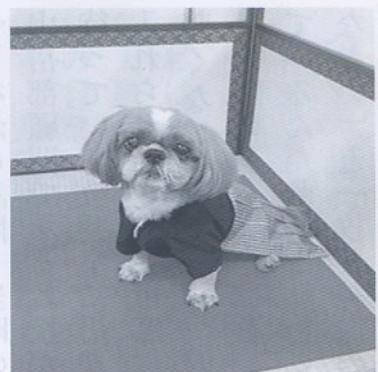
ます。それでいてどこか品があり、自分の使命を理解しているかのように、デイサービスのお年寄りには歩調を合わせて散歩する事が出来ました。

デイサービスの利用者様が玄関から入って来る姿を見つけた時には、体全体で喜びを表現し、利用者様をもてなします。ある時、機嫌が悪い利用者様がユーリーの姿を見ると表情が柔らかくなると表情が柔らかくなり、ユーリーのおかげで一日穏やかに、機嫌よく過ごして下さったことがありました。利用を拒否する方をお誘いするのに、ユーリーも一緒に写つています。

特養の入居者様とその家族やケアハウス和光ハイムの入居者様にも大人気で、行事の写真には必ずユーリーも一緒に写つています。

「謝謝!! ユーリー最高のファシリティドッグ」

晩年は業者様が来ても吠えることなく耳も遠くなり、一日中寝ているこ



プロカメラマンが撮影



○公園でお花見

介護士 牧野 大也

寒さも緩み、暖かくなつてきましたので、久しぶりに入居者の皆さんと近くの公園まで散歩にかけました。

最近は身体を動かす機会が減つてしまい運動不足気味だったのか、公園に着いた時には少し疲れた様子でしたが、公園内の桜を見ると先ほどの疲れが嘘のように無くなつたようで、木に近寄つて桜の花を嬉しそうに眺めながら入居者様同士でお話しをされていました。

桜を一通り見終わつた後にコップを持って皆さんで乾杯。ジュースを飲みながら桜の思い出話に



私達、笑顔で頑張ります

花を咲かせていました。
そして皆さんで写真を撮り元気に帰荘しました。



○久しぶりの散髪

相談員 川崎 俊弘

コロナウイルス感染拡大によつて外出を自粛せざるを得ない状況が続き、入居者様・職員共に窮屈な思いをしています。最近、ワクチンの接種が始まつたとうれしいニュースを目にしました。自粛が終わる日が近づいてきたと希望に胸を膨らませ、その日が来るまで皆で一緒に笑顔で頑張ります。

とは言え、髪は伸びる為、月日が過ぎるにつれて入居者様から、「散髪はできないの?」という声が漏れ聞こえてきました。

今後も散髪業者様の御協力を得ながら、継続して散髪ができる事を祈るばかりです。

しかし、国内では理容師法というのがあり、職員が散髪を行うことは禁止されていて、まだできないことをお伝えするしかなく心苦しい思いでした。そんな中、3月に入



心身共にリフレッシュ

り緊急事態宣言が解除され、散髪業者の方に連絡。相談をして、3月29・31日に来荘していただけることになり、ほとんどの入居者様が散髪をされました。皆さんから散髪ができた喜びの声と満面の笑みを頂き、少しではあります。が胸をなでおろすことができました。

今後も散髪業者様の御協力を得ながら、継続して散髪ができる事を祈るばかりです。

G H きらら

○運営推進会議開催

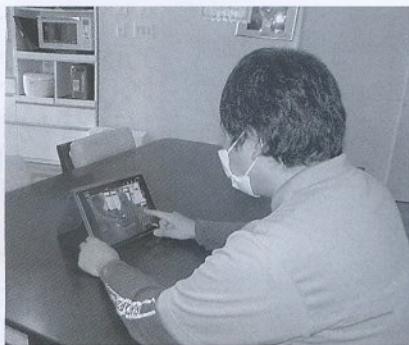
介護士 宮下 市陽

果、感染リスクを無くしてZOOMアプリを使つたオンライン開催にたどり着きました。

G H きららが力を入れてある事の一つに地域交流があります。そのため当事業所では、運営推進会議を2カ月に1度開催し、ご家族や地域の皆様にも参加していただき、入居者様の日々の活動や行事報告などを行つてきました。

しかし、昨年から新型コロナウイルス感染症の拡大のため運営推進会議の開催は取り止めとなり、外出企画も含め地域交流の機会は非常に少ないものとなりました。

度重なる開催の中止を受け、考えを巡らせた結果



PCの操作に悪戦苦闘

これまでオンラインで3回開催しました。慣れない操作に失敗をすることもあります。また参加したくてもできないご家族もおられます。

このように課題や改善点はまだまだありますが、安全面を一番に考え、これからも前向きに地域交流を図つていきたいです。

本 部 日 誌

令和3年3月

3日	本部会議(web会議)	10日	理事会(於 ホテルアーフクリッシュ豊橋)
17日	新人研修(於 作楽荘・Web)	18日	新人研修(於 作楽荘・Web)
24日	評議員会(於 ホテルアーフクリッシュ豊橋)	12日	給食会議
1日	入社式・辞令交付式(於 TSK)	13日	寿司祭り
14日	本部会議(web会議)	17日	職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊副主
3日	雑祭り	18日	任於 大清水センター)
4日	包括管理者会議(白井主任 リモート会議)	20日	包括業務打ち合わせ会(於 豊橋市役所)
8日	給食会議	26日	誕生日会食
15日	寿司祭り	27日	職種別会議(社会福祉士)(白井主任於 豊橋市役所)
16日	職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊副主任於 大清水センター)	29日	連絡会議
21日	誕生日会(於 豊橋市役所)	3日	雑祭り
23日	職種別会議(社会福祉士)(大塚副主任)	4日	茶道クラブ
25日	連絡会議	5日	美光教室
29日	花見喫茶	9日	カラオケ練習会(9・14・21・23・28日)
18日		10日	書道クラブ
11日		11日	筋力低下予防体操
16日		16日	健康体操クラブ

30日 花見喫茶
誕生日会食

令和3年4月

7日	中野地区民生委員会定例会(於 中野地区市民館)
9日	福岡地区民生委員会定例会(於 福岡地区市民館)
12日	給食会議
13日	寿司祭り
17日	職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊副主
18日	任於 大清水センター)
20日	包括業務打ち合わせ会(於 豊橋市役所)
26日	誕生日会食
27日	職種別会議(社会福祉士)(白井主任於 豊橋市役所)
29日	連絡会議
3日	雑祭り
4日	茶道クラブ
5日	美光教室
9日	カラオケ練習会(9・14・21・23・28日)
10日	書道クラブ
11日	筋力低下予防体操
16日	健康体操クラブ

美光ハイム日誌

令和3年3月

15日	寿司祭り
16日	職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊副主任於 大清水センター)
21日	誕生日会
23日	職種別会議(社会福祉士)(大塚副主任)
25日	連絡会議
29日	花見喫茶
18日	
11日	
16日	

15日 誕生日会(A-Bユニット)
24日 倶楽部連絡会議
27日 花見(ドライブ)
令和3年4月

吉川日記

令和3年3月
8日 業務打ち合わせ会
包括(リモート会議)

ベルビューハイツ日誌

DSC吉川

DSC吉かわ日誌

A decorative illustration featuring a variety of stylized flowers and leaves in shades of grey and black on a white background. The design includes large, multi-petaled flowers, smaller clusters of flowers, and long, thin leaves, all arranged in a flowing, organic pattern.

俱樂莊日誌

斯樂莊日誌

8日	連絡会議、ユニットリーダーミーティング
9日	訪問マツサージ（24日）
19日	誕生日会（A-Bユニット）
20日	Bユニット会議
24日	おやつ作り（A-Bユニット）
28日	俱楽部連絡会議
令和3年3月	ス 樂 莊 日 誌
5日	身体拘束勉強会

11日	ケアマネ研修会(堀内主任 リモート)
16日	連絡会議
21日	誕生日会(3F)
22日	温泉フェスタ(～27日)
23日	職種別会議(保健師)(山崎・羽田 リモート会議)
25日	職種別会議(社会福祉士)(音沼於橋市役所)
26日	給食会議

30日	令和3年4月 紅白歌合戦(年度末バージョン)
15日	マツサージサービス
16日	芸能慰問(金田ひよこ様) ～季節の花週間
19日	ぱた餅作り
26日	マツサージサービス
27日	習字教室(佐藤征子講師) 花見(水神社)

麗樂莊日誌

令和3年3月
ひなまつり会食

6日 身体拘束莊內研修(於麗樂莊)

卷之三

10日 認知症サポーター養成講座(於麗楽)

20日 連絡会議・入所者判定会議

卷之三

27日 防災避難訓練

8日 新城市福祉条例制定会議（相山副莊長）

方家坡口行月

14日 寿司祭り

16 日 連絡會議・入所判定會議

卷之三

職員募集中

◆介護士・看護師(豊橋・新城)

◆正職員およびパート職員

友人・知人紹介大歓迎です！

本部事務局

五〇三二四八五一五

日誌工房

作楽荘グループ・BVHグループ・麗楽荘グループ・
CHABU・シーハウス楽荘



施設概要・ブログ等を公開

G工機、日誌

4月に入り新しい年度が始まりました。新入学や新入社の月であり、新しい環境で生活を始める方も多いでしょう。

昨年の1月に日本で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されて以来、生活様式を変えなければならぬほど猛威を振るい続けています。生活環境が一変することは様々であります。

奇樂莊日誌

編集後記

豊橋市の高齢者施設ではワクチン接種が始まつた施設もあり、5月中旬より本格的に接種が始まる模様です。それにより社会的な喧噪はいつたん落ち着きを見せ始める可能性があり、春の芽吹きとともに一日も早く穏やかな日が訪れることを祈るばかりです。(K・F)